

社会学学位プログラム

DPPS・専門基礎(選択必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02CN051	社会学ファシリテーター育成プログラムI	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関するプロジェクトに積極的に介入し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を实践を通して養う。具体的には、「文化共生のためのコミュニティガーデンの計画と運営」、「つくばみらい市まちづくりワークショップ」、「常総市まちづくりワークショップ」、「津別町まちづくりワークショップ」、「Facilitator of organizational behavior research for graduate students」、「ランドスケープ・デザイン・スタジオ」等のプロジェクトのいずれかに参画し、課題に取り組む。	OBLA501と同一、01CN053と同時実施。
02CN052	社会学ファシリテーター育成プログラムII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関するプロジェクトにおいて協働のプロセスを管理、展開できる総合的能力を实践を通して養う。具体的には「文化共生のためのコミュニティガーデンの計画と運営」、「つくばみらい市まちづくりワークショップ」、「常総市まちづくりワークショップ」、「津別町まちづくりワークショップ」、「Facilitator of organizational behavior research for graduate students」、「ランドスケープ・デザイン・スタジオ」等のプロジェクトの中で、「社会学ファシリテーター育成プログラムI」で選択しなかったプロジェクトに参画し、課題に取り組む。	OBLA502と同一、01CN054と同時実施。
02CN053	社会学インターンシップ	3	2.0	1・2	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関連する機関でインターンシップを行い実践力を養う。履修希望学生は、申請書に、受入組織、受入組織所在地、受入組織責任者、受入組織担当者、受入期間、就業日数と時間(35時間以上であることが必須)、インターンシップ中の連絡先、補助等を明記し、学生教育研究災害障害保険(インターンシップコース)に加入した上で申請書を提出する。履修が認められインターンシップに参加した後、インターンシップの内容の概要、具体的成果、インターンシップ指導担当者の所見等からなる報告書を提出し、担当教員が評価を行う。	OBLA500と同一。
02CN054	社会学特別講義I	1	2.0	1-3	秋AB	集中	3E404	モウシュク オレクサnder	社会経済事象に関わる国際比較等について講義をおこなう。いくつかの国際データセットを用いながら、生活水準や経済成長率などを例に、国際間比較を行う視点やその相違の背景について学ぶ。次に、それらの事象を説明する経済モデルについて紹介し、実際のデータを用いて計量的に同定するために必要となる基礎的な理論について学ぶ。	The class will be taught in English, with optional explanation in Japanese. 01CN056, 0AL5115と同一。 オンライン(同時双方向型) The class will be held online. Open in the even academic years.
02CN055	社会学特別講義II	1	2.0	1-3					社会経済事象に関わる国際比較等について講義をおこなう。いくつかの国際データセットを用いながら、生活水準や経済成長率などを例に、国際間比較を行う視点やその相違の背景について学ぶ。次に、それらの事象を説明する経済モデルについて紹介し、実際のデータを用いて計量的に同定するために必要となる基礎的な理論について学ぶ。	The class will be taught in English, with optional explanation in Japanese. 01CN057, 0AL5116と同一。 2022年度開講せず。
02CN056	社会学特別講義III	1	2.0	1-3	通年	随時				01CN058と同一。
02CN057	社会学ファシリテーター育成プログラムIII	3	1.0	1-3	通年	応談		社会学学位プログラム担当教員	社会学に関するプロジェクトにおいて、総合的にプロセスを展開できる能力を实践を通して養う。「社会エファシリテーター育成プログラム」は「社会学ファシリテーター育成プログラム」より実施期間が短いプロジェクトを対象としており、具体的には、「都市計画マスタープラン策定の支援活動」、「マイクロ都市計画立案のための支援活動」、「石岡市の歴史的建築物および里山景観の保全・活用案の提案」等のプロジェクトのいずれかに参画し、主体的に課題に取り組むことで、総合的にプロセスを展開できる能力を養う。	OBLA503と同一。

02CN058	社会学学ファシリテーター育成プレプログラムIV	3	1.0	1 - 3	通年	応談		社会学学学位プログラム担当教員	社会学学に関するプロジェクトにおいて、総合的にプロセスを展開できる能力を実践を通して養う。「社会学学ファシリテーター育成プレプログラム」は「社会学学ファシリテーター育成プログラム」より実施期間が短いプロジェクトを対象としており、具体的には、「都市計画マスタープラン策定の支援活動」、「マイクロ都市計画立案のための支援活動」、「石岡市の歴史的建築物および里山景観の保全・活用案の提案」等のプロジェクトの中で、「社会学学ファシリテーター育成プレプログラムIII」で選択しなかったプロジェクトを選択し、主体的に課題に取り組むことで、総合的にプロセスを展開できる能力を養う。	OBLA504と同一。
02CN059	社会学学特別講義IV	1	1.0	1 - 3	秋AB	集中	3E404			開講未定 01CN061と同一。
02CN060	社会学学特別講義V	1	1.0	1 - 3	春季休業中	集中		水野 誠		01CN062と同一。
02CN062	社会学学特別講義VII	1	1.0	1 - 3	通年	集中				01CN064と同一。
02CN063	社会学学特別講義VIII	1	1.0	1 - 3	通年	集中				開講未定 01CN065と同一。

DPPS・専門(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CN001	社会学学博士特別演習I	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学学位プログラム担当教員	指導教員と2名の副指導教員の同席のもと、博士論文に関する計画発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN002	社会学学博士特別演習II	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学学位プログラム担当教員	学会等において自ら口頭発表を行うことで、研究者として必要なプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身に付ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN003	社会学学博士特別演習III	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学学位プログラム担当教員	指導教員と2名の副指導教員の同席のもと、博士論文に関する中間発表を行い、論文執筆までの見通しを得ることで評価を受ける。	社会学学博士特別演習IIIの履修は、社会学学博士特別演習Iの履修に先んじることはない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN004	社会学学博士特別演習IV	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学学位プログラム担当教員	査読付き学術論文誌に投稿する論文を自ら執筆し、研究者として必要な論文執筆能力を身に付ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN005	社会学学博士特別研究I	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学学位プログラム担当教員	審査委員の同席のもと、博士論文における成果の見通しについて発表を行い、論文提出に関して予備審査を受ける。	社会学学博士特別研究Iの履修は、特別演習I~IVの履修に先んじることはない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN006	社会学学博士特別研究II	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会学学学位プログラム担当教員	審査委員の同席のもと、執筆した博士論文に関して最終発表を行い、本論文の審査を受ける。	社会学学博士特別研究IIの履修は、社会学学博士特別研究Iの履修に先んじることはない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。